

→ 中四国ブロック

ブロック活動報告

REPORTER

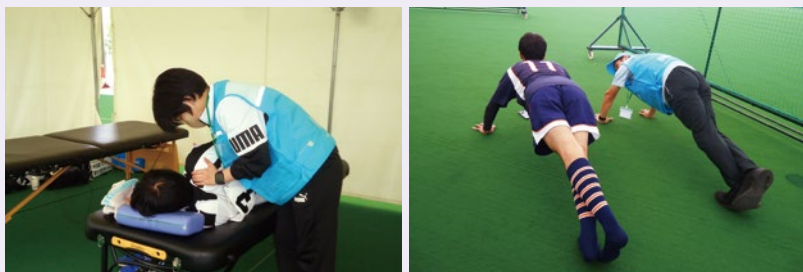
池島卓世（初級指導員／岡山県パラスポーツ指導者協議会情報部会 部長）

情報部会とトレーナー部会の活動

5つの専門部会を設けた岡山県パラスポーツ指導者協議会

岡山県パラスポーツ指導者協議会には、5つの専門部会があります。今回は、2つの部会（情報部会・トレーナー部会）の活動についてご紹介させていただきます。まず、情報部会は2名の指導員で活動しています。主にホームページの更新と年間の各種大会の参加希望者集計を行なっています。ホームページは、2023年に中国四国ブロック特別補助金を活用して開設しました。情報部員が更新できるようにシステムを構築し、一か月で平均2件の更新をしています。

内容については、協議会のお知らせや活動報告、日本パラスポーツ協会や県内の各スポーツ機関からのお知らせが多く、閲覧数は50～100と登録している指導者数の4分の1ほどになっています。ホームページの閲覧数が少ないという課題を改善するために、今後は県内の



第23回全国障害者スポーツ大会中国四国ブロック予選会（フットソフトボール）のトレーナー活動の様子

指導員の活動を掲載するなどの内容の充実に力を入れたと考えています。またSNSを活用した情報発信も検討しており、現在活動している指導員だけでなく、これから指導員を目指している方、パラスポーツに興味のある方など多くの方に閲覧していただけるように努めたいと思います。

トレーナー部会は9名のパラスポーツトレーナーで活動しています。全国障害者スポーツ大会団体競技の中国四国ブロック予選が岡山県にて開催される場合にはトレーナーブースを設営し、選手が少しでも良い状態で試合に臨めるようトレーナーサポートをしております。また、研修会等にも参加し知識・技術の向上にも努めています。

現在は、全国障害者スポーツ大会でのトレーナー活動ができていないのですが、今後は選手団への帯同もできればと思っています。関係団体とより密に連携を図り、活動の幅を広げていく事が出来ればと考えています。

他に研修部会、指導部会、クラス分け部会の3つの専門部会もそれぞれ活動しており、どの部会も指導員のスキルアップやより充実した活動ができるように、研修会の参加や伝達講習会の開催など日々取り組んでいます。



岡山県パラスポーツ指導者協議会

→ 九州ブロック

ブロック活動報告

REPORTER

蒲原伸卓（初級指導員／佐賀県パラスポーツ指導者協議会）

知的男子バレーボールチームでの帯同を終えて

SAGA2024 全国障害者スポーツ大会活動報告

2024年10月26日から28日にかけて、佐賀県において「SAGA2024全国障害者スポーツ大会」が開催されました。この大会は、「する」「観る」「支える」の3つの観点で、全ての関係者にスポットライトが当たる新しい大会でした。

私は理学療法士、パラスポーツ指導員の資格を生かし、「支える」立場で知的男子バレーボール佐賀県代表チームのトレーナー兼事務局員として帯同しました。

知的バレーボール競技はSAGA久光スプリングスの練習拠点である鳥栖市の「サロンパスアリーナ」で開催され、秋篠宮家佳子様のご臨席も賜りました。観客席は満員で、決勝は国際大会のような大歓声の中、見事に佐賀県代表チームが優勝を果たしました。

その中で私は事務局として選手団と関係者の連絡調整や管理、トレーナーとして選手のフィジカルケアが主な役割でした。ケア中は自己主張が苦手な選手から、指導者には話づらい相談も多く、メンタル面のケアや思いの共有もでき、選手やスタッフ陣からも必要とされる存在だということを実感しました。



トレーナーとして選手の身体をケア

帯同して感じたことは、兼任に伴い仕事量が多く、宿舎ではケアと併せて会議や洗濯等が大変だったことです。また選手団の控えテントは狭く、選手のケアで不便さを感じ、ケアを踏まえた環境整備も必要だと感じました。

選手だけでなく、縁の下の力持ちであるスタッフの負担も分散することで新たな指導員の活動機会が増え、私のように職能が広がり、パラスポーツ界の活性化にも繋がるのではと感じています。

以上が報告になりますが、そんな帯同の疲れも吹き飛ばくらいSAGA2024では選手達にたくさんの感動をいただきました。まさに大会スローガンである「すべての人に、スポーツのチカラを。」を体現する大会でした。本当にありがとうございました。今後も微力ながらパラスポーツ界に尽力できればと思います。



見事に優勝を飾った男子佐賀県代表チーム